

十八日より五日間
移轉披露の爲特賣致します
友仙モス尺十錢より.....友仙モス着尺四圓三十錢
◎新大島壹圓五拾錢より.....◎ニコノ各種
尚ほ友仙一切壹圓均一物百切限り但し御一人一切
外に格安品豊富に取揃へました
是非御来店を願上ます
平町四丁目

(吉) 喜好屋吳服店

事務所新築紀念

十坪乃至二十坪位ノ小住宅

格安請負致シマス

外國材購入及ビ建築ニ關スル事柄ハ何ニ
ヨラズ御遠慮ナク相談下サイ
平町田町五七(電話六二番)

丸山喜一郎

眞正 盛岡製南部鐵瓶

御用ノ節ハ左ノ方法ヲ願ヒマス
一、日掛金十錢ヅ、.....(金七圓以内ノ品ハ)
一、日掛金廿錢ヅ、.....(金七圓以上ノ品ハ)
下ナタデモ御来店又ハ葉書デ申込トサレバ即時御届
申上マス
專門販賣 南部屋(吉田)
平町南町廿九番地

冬服寸評

最近洋服界も註文品が割
高の處へ既製品が格安に出
來て居る處から既製品を着
て居る人が八分通りあり此
の頃の不景氣の際は尙更既
製品で間に合はせる人が多
い冬服の既製品の一番安い
勉強なのは

正札堂



淋病 婦人病 淋病 淋病
專門 專門
川包 門 病 病
電話 七〇一



內科 專門
腸胃 專門
十二指 腸胃病
電話 七〇一

松村病院

耳鼻喉科 日本醫學士 河井壽雄
內科 日本醫學士 河原英雄
小兒科 十七日來任 村島耕造
產婦人科 金澤醫學士 火金田出張 北村馬次郎
藥局 主任

博愛病院

平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

召し上れ

飛切り美味しい

マツモトの

特製カステーラ

一本拾錢

ヤトモツマ

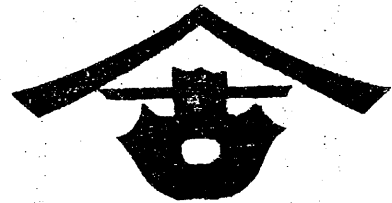
番四一二話電

第二病室 増設

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町田町電話五二三番

標商錄登

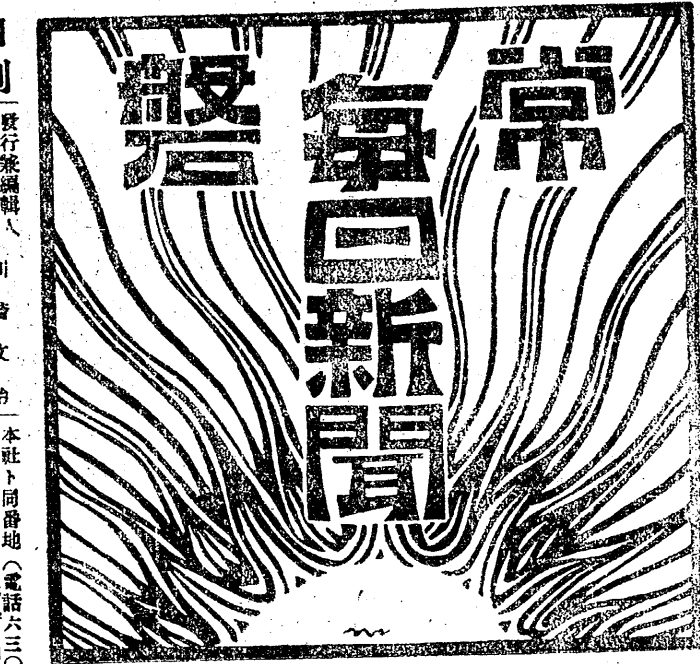


醬油 味噌 鰹魚酒 罐頭食品
油 噌類 節類 詰品

屋問造製

鹽屋山崎合名會社

電話 營業部 一〇〇番
工場 二七番



刊夕日九十月十

定価 一冊金貳錢
一ヶ月卅錢
三ヶ月九拾錢
半年一圓五錢
一年三圓
廣告 五字十二行
一週五錢
一月一圓
印刷 每日
發行所 常磐毎日新聞社
電話 六三〇番

日刊 發行所 常磐毎日新聞社
印刷 川崎文治
本社 同前地(電話六三〇番)
支店 東京 常磐毎日新聞社

常磐毎日新聞

林野之火災(二)

縣會議員 井上茂作

家庭防火思想が向上し各
自最善の注意を拂へば火災
度數を非常に減少し得るも
のであると信する而して火
災は家屋にのみ發するもの
でなく山林、船舶及び汽車
等にも生ずるものであつて
其損害實に莫大である彼の
大正十二年の震災に於ても
潰家は僅かに一萬貳千有戸
に過ぎぬのであるが焼失家
屋は參拾萬戸以上上つて
居る、火災の恐るべきは此
一例を見るも明白であるが
更に亦平時に於ける火災損

害は如何と云ふに年々歳々
貳億四千萬圓なりと云ふ此
巨額の損害は眞に驚かざる
を得ない人畜の死傷も又少
しとせざるものがあるの
であります今にして火災防止
の方法を國家的に攻究し備
ふる處なくんば竟に火災亡
國となりはせぬかと杞憂す
るものあるは強ち無理な觀
察でないと思ふのでありま
す。

山林火災を述る前此に此機
會に於て河川と道路と山林
とは如何なる關係を持つて
居るものであるかを考察研
究して見る事も敢て蛇足で
ないと考へます、先づ我國
の國土の地勢はと申します
と中央に南北を貫いて連亘
せる山脈が横はり東西の平
野とは申すもの、東海岸も
西海岸も直ちに海に沈んで
居り少しく中央山脈に豪雨
が降れば急轉直下の雨方
の河川に注ぎ其勢ひ宛がら
奔馬の如く一直線に押寄せ
吾人の住宅と云はず耕地山
林等を悉く破壊するのであ
る然るに彼の大方面の洪
水はと云ふに廣はう千里と
も稱する平野であつて雪融
けの場合に襲來する洪水で
あるから被害は甚だ少なく
却て多量の肥料分を耕地
に散布せらるゝ事すらあり
どの事でありませう

十二月中旬を期し 小學校教員大異動

新任縣視學連の手は 石城地方まで及ぶか

本縣視學連は最近總出動で夫々受持の郡市に出張小學校を視察してゐるが十一月中旬までには一先づ全縣下の視察を終る筈となつて居る、而して例年八月に於て教員の異動を行つたので今年もそれを断行する豫定でゐた所が郡役所廢止により新任縣視學が何れも受持郡市の事情にて異動を行ふに支障多かつたので今日迄これが延期となつて居たものである、現在では既に相當の日數を経過し既に角各小學校を一巡する事も出来たので十二月中旬に於て可成り廣い範圍に亘つての異動を断行する方針で學連は上局の意見を贊成その臍をかためて居るが郡役所廢止後第一回の異動であつて行はれる始めての異動として成行を今から注目されて居る

傾城トネル 改修工事 十七日付引渡し

去る三月工事費四十七萬をもつて着手した常磐線湯本段間の傾城トネル改修工事は、東京大丸組が請負更に東京深川の磯谷組が下請負で工事を進めてゐる中種々紛議を醸し去月二十四日の如きアハヤ土工の大亂闘を生せんとした事さへあつたので、公約竣工期の十月二十二日までには竣工を危まれてゐたが大丸組は磯谷組と手を切り直屬の鈴木組に工事を委せ三百名の土工を督勵し昼夜兼行で努力した結果意外に工事進捗し約定日より一週間前に全く竣工し十七日鐵道省と工事の假引渡しをした、この工事は我國最初の大トネル改修工事で鐵道省も又土木業者もこれが工事について注視してゐたものだが事は故は八月二十一日の一回のみ大成功であつた

美術院賞 特選會議で決定

年齒未だ而立に達せざるに既に無鑑査出品の巨匠となつた平町出身の新進彫刻家赤堀信平氏は今回力作大地を行くを出品したが美術院に於て開かれる特選會議に於て美術院賞を受くる彫刻六點中の第二位に入つた

大森氏畫會 地方有志の計劃

從來二三味線持る女のボーゾ「文字と人形」等の入賞あり今回の帝展に於て復たまた力作「人物」が見事入選した石城郡出身洋畫家大森義夫氏の連續入選を祝ふ

簡保貸付申請決定 石城郡から三口

仙遊局内に於ける簡保の小口貸付は既報の如く今月下旬頃決定する筈で貸付け總額は二十一萬圓の豫定であり現在査定にかゝるべき申請は二十六口二十六萬六千圓にして石城郡内の分は左の如くである、然して申請額と貸付け額の差が尠いので大体に於ては申請者の満足を見るであらうと觀測せられる、が仙遊局の方針としては簡保の成績の不良の地は遠慮なく貸付け拒絶すると云ふから振り落とさるゝ物も可成りあるであらうと

筑紫路だより

十月七日午前五時五十分熊本發鹿兒島に向ふ。八代驛より汽車は球磨の流を右見て川岸を上る。三大急流の一なりども今は舟筏多く通じて交通甚だ便なり。人吉驛着。修學旅行の兒童一行はこゝにて下車。車内大に静かなり

甘い途行男女

縣茨城郡岩瀬村生れ當時多賀郡助川町居住こう長女小林うめ(三)は北海道札幌郡



家庭欄

卯の花コロッケ

卯の花に挽肉と玉葱をを入れて拵へた美味しい惣菜料理です。卯の花一合、挽肉五十匁、玉葱半個メリケン

今秋の 子供服

女児の子供服は今までは洋装婦人服を縮小した形と云ふふうらみがあつたが、最近の子供服として考案した獨創的のものとなつた、この進歩したスタイルが今秋はよほどハッキリ現れてゐる、大體において總丈が著しく短くなつて幼児のものに殆ど膝の上に裾がある程度になつて来た、スカート型の型もヒダをその周圍全圍につけて極自由で活動的の感じのよいものが選ばれる服の飾りも従来さかんに使はれた刺繍物は殆ど無くなつて近來は切ばぬ式と呼ん

赤いブドウ酒色で、この色氣から紫系統に至る色彩が今秋の子供服を貫流せる色合であるか、上品なものに青味か、つた茶のポアデロース或はアーモンドグリーン、ペーデロース等も新しい好みであるが、餘程品位のあるスタイルでないカッチリはまらない、女児の子供服のケーブはオーバードでもマントでも形がよほど男児のものに近寄つて来た、シヤリツとした感じを現さうとする用意からであらう生地もスコッチやホームスパンの大柄物或は無地に他の色で飾りをつける等々この外に毛皮の使用が

益々盛んになつて来た、併し従來の一部の高級品のやうに高價な毛皮を付けるのでなく、兎の毛皮等の比較的安價なものを面白味と可愛らしさを巧に現して使つたものが多くなつた。男児服には目立つた變化は無いといふ程度であるが、幼稚園の児童程度の子供服には趣味から出發して子供服といふ理解を持つたよいものが見受けられる、何れにしても子供服は子供らしさを輕快で明るい氣持のものを選定することが肝要である、また帽子の調和がスタイルをよくする上に最も必要であるが併し子供帽は大體において今春と形に變りはない生地もケネルベロアシルクベルベット等が好みの中心になつてゐる

選手激勵會

廿一日警銀樓上平町青年團では廿一日午後六時から明治神宮競技大會出場選手走高跳花澤輝一君の送別會を兼ね激勵會を催す

平町人事

▲婚姻
△横濱市東神奈川町會社員 鈴木誠則(三) 田町七二飯野元子(三) 〇
▲死亡
△村水町三五杉山アキ(三)

意味に於て地方有志は目下地方及び茨城縣の一部に亘り同氏の畫會開催を計劃中である

櫻島

次驛眞幸は一二六六呎大畑矢嶽間五哩九分

九州終焉の地

日は海上で暮れんとし城山に登る頃は既に暗い、第七高等學校に迷ひ込み、徳田君を幸する事多き。泊瀬義氏より非常な親切なる若紳士となり、歸るべき汽車時間にもあるからと約二時間間案内の勞をせらる。有難い事多し。萬燈に彩られたる市街を見下したる其の美觀壯麗。筆舌に絶す。岩崎谷の洞窟。南洲終焉の地を弔ひ八時半の夜行に乘る今夜も汽車ホテルに一泊

解散

十月八日午前二時熊本着。引地氏は阿蘇登山の後朝鮮まで、岩崎氏は奈良及伊勢に筆者は四國地方に各方面を異にする為一まづ熊本驛にて解散す。無事歸校の上其の後の消息を語るを樂しみつ、(をばり)